

OSAKA CITY UNIVERSITY

**大阪市立大学**  
東日本大震災復興支援ボランティア活動報告会  
～ 式次第 ～

- ・ 宮野副学長の挨拶
- ・ 第二次隊活動報告 <工学研究科 M2 今尾 聖太郎>
- ・ 第三次隊活動報告 <工学研究科 M1 越智 雅樹>
- ・ 公立大学協会連携ボランティア派遣活動報告  
<法学部 B2 吉田 成希>
- ・ 質疑応答
- ・ ボランティア参加者の声

OSAKA CITY UNIVERSITY

**大阪市立大学**  
東日本大震災復興支援ボランティア活動報告会

- 第1次隊 7/1～7/4
- 第2次隊 8/9～8/12
- 第3次隊 9/16～9/19

大阪市内立大学

- 公立大学協会連携近畿地区ボランティア派遣 (GINGA-NET)

OSAKA CITY UNIVERSITY

**活動場所**

岩手県 釜石市 唐丹町

唐丹町 釜石市 唐丹町

1次隊  
2次隊  
3次隊

OSAKA CITY UNIVERSITY

**スケジュールと活動メンバー**

Schedule		Members		
8月9日	バスで大学を立つ 約15時間	学年	学部	氏名
10日	釜石ボランティアセンター到着 釜石市唐丹町においてボランティア活動	B1	経	阿部 真弓
11日	大阪に向けて出発	B3	生	植内 哲平
12日	全員無事に帰阪	B1	生	福西 昂
		B2	文	安浪 皓星
		B2	理	西口 智也
		B2	理	大内 悠平
		B2	生	宇恵 葉月
		B2	看	伊澤 美佐
		B2	看	大森 千尋
		B2	看	子才度 祐子
		B2	看	谷村 唯奈
			事務職員	西川 祐一
			事務職員	津田 恒夫
			事務職員	服部 崇司

OSAKA CITY UNIVERSITY

**活動内容**

<家財整理のお手伝い>  
津波被害に遭われたお宅の家財の分別。

**保存**

- ・ 写真
- ・ アルバム
- ・ 文集
- ・ 賞状
- ・ 書類 等

ボランティアセンターへ

**廃棄**

- ・ 4種類に分別
- { 金属
- { 木材
- { 家電
- { 可燃物

トラックに積み込む

OSAKA CITY UNIVERSITY

**1日目**

地震の時刻

津波の時刻

1日目 ～ 1軒目～

OSAKA CITY UNIVERSITY

Before



After





1日目 ～ 2軒目～

OSAKA CITY UNIVERSITY

実際に住まれていた方の  
立ち会いの下での作業

震災時の様子について  
お話を伺った





1日目

OSAKA CITY UNIVERSITY

反省会 ～2日目に向けて～



活動面

- ・ 服装
- ・ 役割分担
- ・ 高効率化
- ・ 意思疎通

現地の方への対応

- ・ 言動
- ・ 配慮

2日目 ～ 釜石港～

OSAKA CITY UNIVERSITY

打ち上げられたタンカー



2日目 ～ 家財の整理～

OSAKA CITY UNIVERSITY

2日間で計5棟の家財の整理






2日目 大阪市立大学からのメッセージ

OSAKA CITY UNIVERSITY



釜石市ボランティアセンターにお渡ししました

最後に

OSAKA CITY UNIVERSITY

絆Tシャツの購入



ご静聴ありがとうございました

# 第三次東日本大震災復興 支援学生ボランティア 活動報告

2011/11/3  
大阪市立大学大学院工学研究科  
M1 越智雅樹

## 概要

期間 平成23年9月16日(金)～9月19日(月)  
場所 岩手県釜石市  
参加者 21人(学生18名、教員1名、職員2名)

### スケジュール

月日	時間	行程
9月16日	16:15	杉本キャンパス出発
9月17日	8:00	釜石市市内到着
	9:00	現地での活動実施
	16:00	活動終了 釜石ベイシティホテルへ
9月18日	9:00	現地での活動実施
	16:00	活動終了 杉本キャンパスに向け出発
9月19日	8:00	杉本キャンパス到着・解散

## 釜石市災害支援ボランティアセンター

ボランティア1日目(9月17日)



## 活動場所：釜石市立唐丹小学校



唐丹小学校正面  
体育館  
学校付近の護岸  
瓦礫の仮置き場

## 活動内容

佐々木さん(現地の建設会社勤務の方)

**活動内容**  
津波で運ばれた小石の除去。  
砂をまいて、グラウンドを整備する。

グラウンドの状況  
既に、瓦礫が仮置き場に移動されていた。が、津波により運ばれた土と小石でグラウンドとして使用できない状態。

活動(グラウンド整備)の様子①

○小石の除去開始！！  
 鍬(くわ)やスコップを使って地面を掘り起こし、ふるいを使って、小石を取り除いていきました。

[ 6 ]

活動(グラウンド整備)の様子②

○砂を捲いて、グラウンド整備！！

[ 7 ]

昼食休憩、佐々木さんの話

昼食休憩  
 コンビニで購入したご飯を食べました。

佐々木さんの話  
 昼食後、震災時の状況を写真と共に話してくれました。時折見せる佐々木さんの険しい表情に、震災の悲惨さを感じました。

[ 8 ]

唐丹小学校、校内見学

窓のほとんどが無くなっていました。

これは、三階で撮られた写真です。人の高さまで、津波の痕跡があり、津波の高さを実感しました。

[ 9 ]

最後に、一緒に作業したみんなと写真を撮りました！！

赤色のビブが私たち  
 黄色のビブが上智大学のボランティア

[ 10 ]

ありがとうございました！！

[ 11 ]

**1日目を終えて、反省会**

反省会の内容

- 感想
- 活動の良い/悪い点
- 明日の抱負



[ 12 ]

**唐丹町の甲子川(かっしかわ)**

ボランティア2日目(9月18日)



[ 13 ]

**活動の前に...**

反省会を踏まえて...  
円陣を組みました。

**えっちょます!**

「えっちょます」は、岩手県の方言です。みんなで1つになろう、という意味で掛け声にぴったりでした!



[ 14 ]

**活動の様子①**

○草取り作業開始!!  
鎌やスコップを使って、ひたすら草を刈っていました。



[ 15 ]

**活動の様子②**

写真の通り、みんな精一杯動いてくれました。



[ 16 ]

**休憩時間の様子**

当日、残暑が厳しく、こまめに休憩をはさみました。



[ 17 ]



**公立大学協会近畿地区  
ボランティア派遣  
(岩手GINGA-NETプロジェクト)**

大阪市立大学法学部 2 回生  
吉田成希

**本日の活動報告**

- 1 : 活動報告ムービー (終了)
- 2 : 参加メンバー
- 3 : 活動内容
  - (1) GINGA-NETプロジェクトとは
  - (2) 私の行った活動

**2 : 参加メンバー**

- ✧ 大阪府立大学生 19名 職員 2名
- ✧ 大阪市立大学生・大学院生 5名
- ・ 法学部 2 回生 吉田成希
- ・ 理学部物理学科 4 回生 中野寛之
- ・ 工学部電気工学科 4 回生 有家正喜
- ・ 工学研究科 電子情報系専攻 下川貴通
- ・ 工学研究科 電子情報系専攻 西坂友宏

**3 : 活動報告**

**(1) いわてGINGA-NETプロジェクトとは  
(ホームページ参照)**

■開催趣旨

3月11日に発生した大震災は、死者・行方不明者は二万五千人を超える大きな被害をもたらしました。避難所や応急仮設住宅で暮らす数多くの避難者の方の生活を支えるためには、長期的に様々な支援が必要です。

一方、この未曾有の被害に対し、力になりたいという学生も数多くおり、また大学等も夏季休暇に向けて、学生の活動を応援しようという機運も高まっています。

こうした被災地の要支援ニーズと学生のボランティアニーズを効果的に結びつけるために「いわてGINGA-NETプロジェクト」は結成されました。

具体的には、岩手県南部沿岸地域にアクセスのよい住田町を宿泊拠点として、岩手県内各地でのボランティア活動に参加する仕組みを、ネットワークを組んで進めていこう！という取り組みです。

企画・運営にあたっては、岩手県立大学学生ボランティアセンターが、県内のボランティア活動プログラム開発、マッチングや宿泊サポートを、ユースビジョン及びさくらネットが、全国の大学ボランティアセンター、及び学生ボランティア推進団体と連携して、学生ボランティアの募集、送り出しを行います。

## いわてGINGA-NETプロジェクトとは<続き>

**■実施概要**  
**活動期間**：7月27日（水）～9月27日（火）の9週間  
 （一般参加者募集期間は、8月3日から9月20日までの7週間とします。）  
**参加規模**：1週間単位で毎週100～150名程度。  
 合計1000名程度を予定。  
**活動地域**：大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町ほか  
**活動内容**：仮設住宅でのサロン活動、子ども向けの学習支援、遊び支援、お祭り等地域行事の開催支援等  
**実施主体**：いわてGINGA-NETプロジェクト実行委員会  
 ・岩手県立大学学生ボランティアセンター [ボランティア活動プログラム開発、マッチング、宿泊サポート]  
 ・ユースビジョン、さくらネット [大学等へのよびかけ、資金調達]  
**財源**：参加者参加費の他、募金、企業協賛金を募るほか、助成機関からの助成金を申請中。

## 主催・協賛

**■プロジェクト主催団体**  
**岩手県立大学学生ボランティアセンター**  
 2007年に発生した新潟県中越沖地震の復興支援ボランティアを契機に、翌2008年に学内にボランティアセンターを設立。現在、約50名のスタッフを主体に、地域からボランティア依頼の対応や、学生への活動紹介のほか、プロジェクトチーム方式で、地域の課題に対応した活動を行っています。  
 3月11日に発生した東日本大震災においては、釜石市、陸前高田市の災害ボランティアセンターの運営支援や、遠来ボランティア企画の運営など、学生を主体に様々な活動を行っています。  
 URL：http://circle.iwate-u.ac.jp/~vol-cen

**(物)さくらネット**  
 阪神淡路大震災の経験、教訓をもとに、災害にも強い福祉のまちづくり事業、くらしの充実に向けたNPOと自治体との協働事業等を通じ、課題解決への意欲が花ひらくような、個人とコミュニティの関係づくりに取り組む兵庫県西宮市のNPO法人。  
 今年4月、5月の2回、「いわてっこ応援！学生ボランティアバスプロジェクト」を実施し、100名を超える関西の大学生たちを岩手県でのボランティア活動へ送り出しました。

**(物)ユースビジョン**  
 阪神淡路大震災を契機に生まれた学生のボランティア活動のムーブメントを、一過性ではなく、地域、社会に根付かせていくための、1998年に学生有志で設立した「いっしょと学生ボランティアセンター」が前身。ボランティア活動を通して多くの学生と地域を結ぶ活動を展開。2005年に名称変更。現在、NPOへのインターンシップや就職支援など活動の幅を広げつつ、大学ボランティアセンターの設立や運営の支援、学び合いの機会づくりなどにも取り組んでいます。  
 URL：http://www.youthvision.jp/

**(社) 岩手県社会福祉協議会（地域福祉企画部 ボランティア・市民活動センター）**  
 岩手県社会福祉協議会は、岩手県における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の増進を図ることを目的とする民間の団体です。東日本大震災以降は、岩手県内の災害ボランティアセンターと連携して、復興支援ボランティアのコーディネート役を担っています。

## 3（2）私の行った活動

日付	活動内容
9月7日	大阪を出発 岩手県へ
9月8日	岩手県住田町に到着 沿岸視察・各班に分かれミーティング
9月9日～	・お茶っこサロン ・毎晩の反省会、翌日のミーティング
12日	9月12日 ・みんなで「します宣言！」 ・岩手県を出発 大阪へ
9月13日	大阪に到着

- ## 3（2）私の行った活動
- × 9月8日 沿岸視察
    - ・ムービーで流したような現状
    - ・釜石キッチンカープロジェクトのラーメン屋で昼食
  - ・各大学混合のグループを結成
  - ・活動場所振り分け  
（私は吉里吉里駅周辺担当に）



## 9月9日～12日

- ✦ **主な活動：仮設の談話室でお茶っこサロン**  
お茶っこサロンとは、談話室でのカフェのようなものを開いて仮設住宅におけるコミュニティを作っていくお手伝い
- ✦ **各日個別の活動**
- 9/9 地域に挨拶回り、子供への声かけ
- 9/10 近くの保育園の運動会の準備
- 9/11 かき氷配布
- 9/12 地域に挨拶回り、引継書作成

## お茶っこサロンの活動風景



来てもらった方や挨拶させてもらった方から直接地震の体験を聞かせてもらった。ボランティアのニーズの整合性など反省点が多く見つかった。

## 岩手県大槌町の子供たち！



地震を乗り越えて行われた  
保育園の運動会



## 9月12日<最終日>の様子



ご清聴ありがとうございました

OSAKA CITY UNIVERSITY

 **質疑応答**

- 第2次隊 
- 第3次隊 
- 公立大学協会連携近畿地区ボランティア派遣 (GINGA-NET) 

OSAKA CITY UNIVERSITY



参加者の声

ボランティアの感想

楽しかったこと  
苦しかったこと etc

OSAKA CITY UNIVERSITY



参加者の声

ボランティアの前後で

何が変わったか

OSAKA CITY UNIVERSITY



参加者の声

これからボランティアの  
経験をどう活かしていくか

OSAKA CITY UNIVERSITY



参加者の声

市大のボランティアの  
活性化に向けて